

沖縄総合事務局国営事業評価技術検討会（第2回） 議事概要

- 1 日 時：平成 28 年 7 月 15 日（金）15:00～15:30
- 2 場 所：那覇第2地方合同庁舎2号館2階D・E会議室
（沖縄県那覇市おもろまち2-1-1）
- 3 対象地区：国営施設応急対策事業「宮古地区」
- 4 委 員：幸喜 徳子 沖縄石油ガス株式会社代表取締役会長
内藤 重之 琉球大学農学部教授
吉永 安俊 琉球大学名誉教授
- 5 議 事：
沖縄総合事務局国営事業評価技術検討会（第2回）を開催し、沖縄総合事務局（以下「沖総局」と表記。）より、前回（第1回）の技術検討会の意見を踏まえた事前評価説明資料の修正案等を説明し、各委員の了解を得た。
なお、欠席の井口委員及び立原委員からは事前に同内容を説明の上、了解を得ている。
質疑応答の概要は以下（1）、技術検討会の意見は以下（2）のとおり。

（1）質疑応答の概要

（委 員）

- ・評価指標の「野菜指定産地等の指定作物の計画作付面積割合」について、評価結果が0haとなっているがどうか。

また、前回の技術検討会時点ではどのような評価であったか確認したい。

（沖総局）

- ・当該評価指標については、第1回技術検討会時点においては、対象作物の作付がないことから、該当しない（評価は「－」）とし、沖縄県の拠点産地に認定されている地域であること等を踏まえ、本地区の評価が適切になされるよう農林水産省に確認する旨を説明したところ。

以後、農林水産省への確認等を行った結果、他地区の評価との整合性から、指定作物の計画作付面積が0haの場合の評価結果を面積割合「0%」と見直す必要が生じたことから、評価基準（8.7%より小なる場合はB）に基づき、評価を「B」に修正している。

（2）技術検討会の意見

（委 員）

- ・宮古地区の事前評価については、適切に評価されている。